

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公表番号】特表2020-516722(P2020-516722A)

【公表日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2020-023

【出願番号】特願2019-555472(P2019-555472)

【国際特許分類】

C 0 8 L 83/06 (2006.01)

C 0 8 L 83/08 (2006.01)

C 0 8 K 5/544 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 83/06

C 0 8 L 83/08

C 0 8 K 5/544

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年2月5日(2021.2.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0004

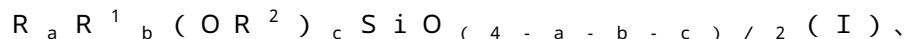
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0004】

本発明の主題はしたがって、以下：

(A) オルガニルオキシ基を含有し、かつ式(I)の単位からなる、オルガノポリシロキサン：



式中、

Rは、同一であってもまたは異なってもよく、かつ脂肪族炭素-炭素多重結合を含まない、一価でSiC結合されている随意に置換されたヒドロカルビル基を表し、

R¹は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ脂肪族炭素-炭素多重結合を有する、一価でSiC結合されている随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

R²は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ一価の随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

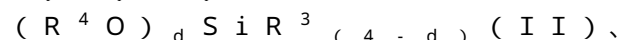
aは、0、1、2、または3であり、

bは、0または1であり、かつ、

cは、0、1、2、または3であるが、

ただし、式(I)において、 $a + b + c \leq 3$ であり、かつ少なくとも1つの単位ではbおよびcが0以外の値であって；

(B) 式(II)の有機ケイ素化合物：



式中、

R³は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ一価でSiC結合されている随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

R⁴は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ水素原子または一価の随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

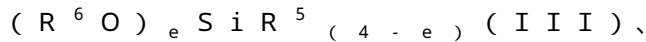
dは、2、3、または4であり、好ましくは3または4であり、より好ましくは3であるが、

ただし、有機ケイ素化合物 (B) において、少なくとも 2 個の炭素原子を有する少なくとも 1 個の基 R^4 が存在し、

および / またはそれらの部分的な加水分解産物であって ;

ならびに、

(C) 塩基性窒素を含有する式 (I I I) の有機ケイ素化合物 :



式中、

R^5 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ塩基性窒素を含有する一価で Si C 結合されている基を示し、

R^6 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ水素原子または一価の随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

e は、2 または 3、好ましくは 3 であるが、

ならびに / またはそれらの部分的な加水分解産物 ; を含んでなる、架橋性組成物である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

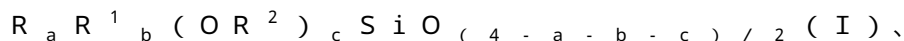
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

架橋性組成物であって、

(A) オルガニルオキシ基を含有し、かつ式 (I) の単位からなる、オルガノポリシロキサン :



式中、

R は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ脂肪族炭素 - 炭素多重結合を含まない、一価で Si C 結合されている随意に置換されたヒドロカルビル基を表し、

R^1 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ脂肪族炭素 - 炭素多重結合を有する、一価で Si C 結合されている随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

R^2 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ一価の随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

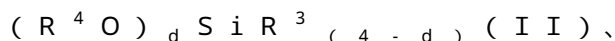
a は、0、1、2、または 3 であり、

b は、0 または 1 であり、かつ、

c は、0、1、2、または 3 であるが、

ただし、式 (I) において、 $a + b + c \leq 3$ であり、かつ 少なくとも 1 つの単位では b および c が 0 以外の値であって ;

(B) 式 (I I) の有機ケイ素化合物 :



式中、

R^3 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ一価で Si C 結合されている随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

R^4 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ水素原子または一価の随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

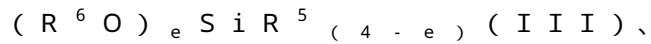
d は、2、3、または 4 であるが、

ただし、有機ケイ素化合物 (B) において、少なくとも 2 個の炭素原子を有する少なくとも 1 個の基 R^4 が存在し、

および / またはそれらの部分的な加水分解産物であって ;

ならびに、

(C) 塩基性窒素を含有する式 (I I I) の有機ケイ素化合物 :



式中、

R^5 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ塩基性窒素を含有する一価で Si に結合されている基を示し、

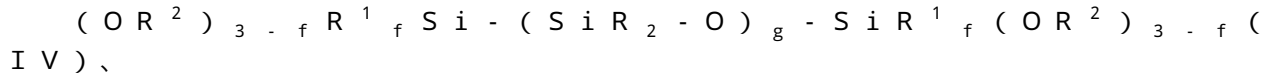
R^6 は、同一であってもまたは異なってもよく、かつ水素原子または一価の随意に置換されたヒドロカルビル基を示し、

e は、2 または 3 であるが、

ならびに / またはそれらの部分的な加水分解産物 ; を含んでなる、架橋性組成物。

【請求項 2】

オルガノポリシロキサン (A) が、実質的に直鎖状のオルガニルオキシ末端を有する式 (IV) のオルガノポリシロキサンであって、



式中、

R 、 R^1 、および R^2 は、それぞれ同一であってもまたは異なってもよく、かつ請求項 1 に記載の定義の 1 つを有し、

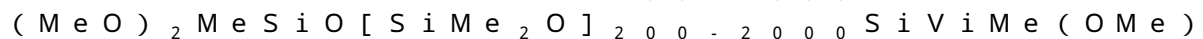
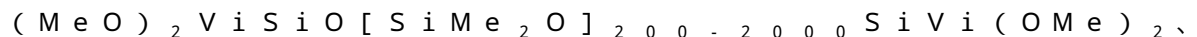
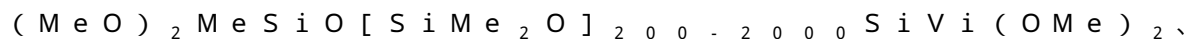
g は、30 ~ 5000 であり、そして、

f は、0、1、または 2 であるが、

ただし、式 (IV) において、 f は、少なくとも一つの単位では 0 以外である、請求項 1 に記載の架橋性組成物。

【請求項 3】

オルガノポリシロキサン (A) が、



、
 $(MeO) ViMeSiO [SiMe_2O]_{200-2000} SiViMe(OMe)$)、または

$(MeO) ViMeSiO [SiMe_2O]_{200-2000} SiVi(OMe)_2$ である、請求項 1 または 2 に記載の架橋性組成物。

【請求項 4】

有機ケイ素化合物 (B) が、少なくとも一つのエトキシ基またはそれらの部分的な加水分解産物を有するシランである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の架橋性組成物。

【請求項 5】

有機ケイ素化合物 (B) が、テトラエトキシシラン、メチルトリエトキシシラン、ジメチルジエトキシシラン、ビニルトリエトキシシラン、ビニルメチルジエトキシシラン、フェニルトリエトキシシラン、フェニルメチルジエトキシシラン、もしくは 1, 2 - ビス(トリエトキシシリル)エタン、またはそれらの部分的な加水分解産物である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の架橋性組成物。

【請求項 6】

前記有機ケイ素化合物 (C) が、3 - アミノプロピルトリメトキシシラン、3 - アミノプロピルトリエトキシシラン、3 - アミノプロピルメチルジメトキシシラン、3 - アミノプロピルメチルジエトキシシラン、N - (2 - アミノエチル) - 3 - アミノプロピルトリメトキシシラン、N - (2 - アミノエチル) - 3 - アミノプロピルトリエトキシシラン、N - (2 - アミノエチル) - 3 - アミノプロピルメチルジメトキシシラン、N - フェニル - 3 - アミノプロピルトリメトキシシラン、N - フェニル - 3 - アミノプロピルメチルジメトキシシラン、N - フェニル - 3 - アミノプロピルトリエトキシシラン、もしくは N - フェニル - 3 - アミノプロピルメチルジエトキシシラン、または N - アルキルもしくは 3 - アミノプロピルトリメトキシシラン、3 - アミノプロピルトリエトキシシラン、3 - アミノプロピルメチルジメトキシシラン、もしくは 3 - アミノプロピルメチルジエトキシシ

ランの N , N - ジアルキル誘導体もしくはそれらの部分的な加水分解産物であって、ここで、前述した N - アルキル基が、メチル、エチル、n - プロピル、イソプロピル、n - ブチル、イソブチル、tert - ブチル、シクロヘキシル、または種々の分枝もしくは非分枝のペンチルもしくはヘキシル基である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の架橋性組成物。

【請求項 7】

成分 (B) と成分 (C) との重量比が、2 : 1 ~ 1 : 2 の範囲である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の架橋性組成物。

【請求項 8】

以下、

(A) 式 (I) の単位からなるオルガノポリシロキサンと、

(B) 少なくとも 1 つのエチル基 R⁴ を有する式 (I I) の有機ケイ素化合物、および/またはそれらの部分的な加水分解産物と、

(C) 塩基性窒素を含有する式 (I I I) の有機ケイ素化合物、および/またはそれらの部分的な加水分解産物と、

随意に、

(D) 可塑剤と、

随意に、

(E) 充填剤と、

随意に、

(F) 触媒と、

随意に、

(G) 安定剤と、そして、

随意に、

(H) 添加剤と、を含んでなる、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の架橋性組成物

。

【請求項 9】

全ての成分を随意の順序で互いに混合することを含んでなる、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の架橋性組成物を製造するための方法。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物を架橋することによって製造される、成形物。